

●●講中を訪ねて●●

南峯御嶽講

講元 晝間 保雄

父にかわり二十年前から講元を務めさせて頂いております。

講のはじまりは昭和三十年代、県会議員選挙の頃から片柳宮司様にお世話になった事を父から聞いております。

当時は五十数名いた講員も年々減少し、現在は十七名程となりましたが、御嶽山を崇拜する心は変わらず、美しい大自然を抱くお山に参拝するのを講員は楽しみにしています。

登奈利荘片柳宮司様御一家におかれましては、お孫様に囲まれお世話頂き、これからも末永く続けられることを願ってやみません。

所在地 埼玉県入間市
講員数 十七名
主幹宮司 片柳 光雄



平成26年度 南峯御嶽講代参記念 平成26年4月21日

下長洲御嶽講

講元 野村 直

戦後、世の中全ての人々に災いを除き福を求め、所願成就を願ひ、下長洲御嶽講が結構されたそうです。小生は、二十一年前より講元を務めさせて頂いております。現在講員は六十名で、大きな講中として存続している所です。

毎年恒例の参拝は、四月末の日曜日又は祝日に、祈願祭、及び総会をかねて実施しています。参加者は毎回四十名前後で、地元よりバス一台を貸切り、年老いても、女性でも、若手でも、講員にこだわらず、一般の方も参加をし、祈願時は全員に玉串奉奠し参拝する形をとっています。

総会に先だち、主幹宮司及び講員有志による雅楽の演奏により進行し、終了後の直会において和気あいあい楽しく親睦がはかられる、いつか場であると思ひ、御嶽講の存続を願ひ、続けていきたいと思ひます。

所在地 東京都青梅市

講員数 六十名

主幹宮司 橋本 義明



川越市上戸御嶽講

講元 鈴木 邦夫

上戸御嶽講は、日枝神社の氏子により構成されております。したがって秋の日枝神社の祭礼時に、

籤引きにより代参を決めています。神社本殿は川越市指定文化財になっております。平安時代の豪族・河越氏は、河肥三十三郷を荘園として後白河法皇に寄進し、自らは荘官として経営にあたりました。このため、河越荘内(上戸)に新日吉山王宮(いまひえさんのうぐつ)が勧請されました。

江戸館の主である江戸氏は、河越氏の分かれであることから貞治元年(一二三二)に江戸館を築いた際、河越氏の氏神様である上戸の新日吉山王宮の分霊社を江戸館の鎮守社として還し祀りました。これが現在の東京赤坂の日枝神社であります。

このような由緒深い日枝神社の氏子でもある上戸御嶽講の人々は、敬神の念が厚く、とくに御嶽山には毎年代参を立て、満講の際には講員全員により太々神楽を奉納してあります。

所在地 埼玉県川越市上戸
講員数 約五十名
主幹宮司 黒田 忠雄

御嶽神社あれこれ

「浦安の舞」講習会

十七年前より太々神楽とは別に、神楽舞「浦安の舞」が舞われるようになりました。舞姫は山上の若い女性を対象に、夏に一度「浦安の舞講習会」を開催し、大祭でのご奉仕の他に、練習の成果を発表する場として、薪神楽や一般公開・夜神楽等で舞を披露しています。

「浦安の舞」は、皇紀三千六百年を奉祝して、宮内省式部職業部楽長 多忠朝氏により作曲・振付されたもので、現在でも代表的な神前神楽として多くの祭典で奉奏され、神慮をお慰め奉っています。

「天地の神にぞ祈る朝なぞの 神のごとくに波たため世を」昭和天皇の御製で、平和を祈る御歌です。昨今の国際情勢・度重なる天災など、心安まらぬ報道が後を絶ちません。この御歌のように、心の平穏と世界の平和を祈るばかりです。

講習会日記

今年八月十一日～二十二日までの七日間、上級生・下級生に分かれ練習を行いました。参加者は、小学三年生から中学一年生までの八名。元気な女子の、賑やかな講習会となりました。今年始めて舞台で発表する子もおり、和気藹々とした楽しさの中にも緊張感が入り交じり、とても良い練習が出来たのではないのでしょうか。

八月十一日



神妙な面持ちで開講奉告祭に参列した上級生3名。(中学1年2名・小学5年1名)舞の上達を神様に祈ります。これから扇舞・鈴舞を学びます。

八月十八日



後半の部。小学3・4年生の5名。始めて2、3年の子供たちです。舞の通りを必死に覚えているところです。昨年に比べ、随分お姉さんになりました。

八月二十二日



皆でやる浦安は、やっぱり達成感も魅力。来年もがんばります！



薪神楽で舞を披露するため、練習にも熱が入ります。

テンポあわせるのむずかしい〜(汗)

八月十四日



じつは…おやつ時間が一番の楽しみ(>▽<)!!

それぞれ注意されたところを、自分なりにノートへまとめて復習しています。がんばってますね!!

八月二十日



お姉さん達の舞を見学。今年は発表した〜!とみんな意欲的。さあ何人の子供たちが本番に出られるでしょうか。がんばって!!

八月二十四日



緊張したけどやり切れて良かった!! 次の舞台も成功するぞ!

中学生・小学5年生の2人。一人は今年始めて舞を披露しました。二人とも立派に舞うことが出来ました。

今後の予定

神楽と雅楽の一般公開

十月十三日(月) 体育の日
神社 神楽殿にて
午前 十一時 開演

夜神楽

九月二十八日(日)
十月二十六日(日)
十一月二十三日(日)
神社 神楽殿にて

六月・十一月の第四日曜日 午後八時開演
* 演目は異なります。

* 無料
* 夜神楽終演後、臨時ケーブルカー有